

石橋湛山、田中角栄、宮沢喜一元首相も保守本流・護憲 一億総中流社会の再現を!!



西尾けんいち 県議会報告

発行 平和の党 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 047(460)1061

県議のカナダ視察中止

私や市民グループが住民訴訟を行ったためか、今年度の県議会海外視察カナダ行きが人が集まらず中止になった。そこで不用額3228万円をフードバンクなど貧困救済に回すよう知事に要望しましたが、補正予算の振替を行わず、それどころか知事など特別職の期末手当を増額する始末。そこで、反対討論を行いました。

2月定例県議会予算委員会

質問 県政に関する世論調査と議員の海外視察についていかがですか。
質問 県政に関する世論調査に、議員の海外視察に関する項目も加えるべきではないでしょうか。

報道広報課長 県政に関する世論調査は、県民の生活意識や、県政に対する関心、期待などを把握し、調査結果を、その後の県政推進の基礎資料とすることを目的として行っています。
そのための調査は、対象となる事務や事業を所管する所属からの依頼を受けて実施しており、寄せられた項目の中から、県として優先すべき課題や、県民の関

心の高い分野などを勘案して決定しています。
質問 現行の世論調査の項目の選定方法では、公正な調査とは言えないのではないかと。
報道広報課長 調査項目については、県として優先すべき課題や、県民の関心事項などを勘案して決定しているところですが、決定に先立ち、調査対象となる事務や事業に精通している所属と十分協議しています。
再質問 議会に不都合な結果になるから調査をしないというのでは、公正な調査とは言えないのではないのでしょうか。

県議の海外視察必要なし77%

2016年、私は政務活動費を使ってアンケートを実施し、1000人の県民の方から、幅広く回答を頂き、その結果、県議団の海外視察は必要ないと考える県民が多いことが分かりました。

6月の県議会で、県議団が、8月下旬から1週間英国を公共事業による経済効果や、観光振興策を調査するため、行政視察することが賛成多数で承認されました。議員16人で1週間、費用の総額は、約2,000万円です。あなたは、千葉県議会議員の海外視察が必要と考えますか。

1 必要だと思う	8.6%
2 必要だとは思わない	77.3%
3 わからない	14.1%

報道広報課長 世論調査は、対象となる事務や事業を所管する所属が、その結果をその後の県政推進の基礎資料として活用することを前提としています。
そのため、当該所属が調査を希望しないのであれば、調査項目に加えることはありません。

再質問 議会の考えで全てが決まるなら世論調査の必要がなくなるのではないのでしょうか。
報道広報課長 繰り返しになりますが、世論調査は、対象となる事務や事業を所管する所属が、その結果をその後の県政推進の基礎資

料として活用することを前提としています。そのため、当該所属が調査を希望しないのであれば、調査項目に加えることはありません。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

子ども食堂の予算増額を

質問 補正予算で子ども食堂に関する予算を増額すべきではないのでしょうか。
子育て支援課長 県では、こども食堂の自立的な運営を支え、地域における連携体制を構築することを目的として、令和6年11月からこども食堂サポートセンターを設置しており、本年度予算においても、センターの運営に必要な経費を計上しているところです。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 議員の海外視察は必要ないというのが、県民の圧倒的声である。県民目線を尊重して、廃止の検討を議長に提案すべきではないでしょうか。
総務部副参事 議員の海外派遣の実施につきましては、「地方自治法」及び「千葉県議会会議規則」の規定に基づき、議会の議決で決定されるものと認識しております。

再質問 決めるのは議会であるが、県民の声を反映して提案をしてもらいたいのではないのでしょうか。
総務部副参事 繰り返しになりますが、議員の海外派遣の実施については、議会の議決で決定されるものと認識しております。

議会でも反対討論

「政治の役割は大きく二つあります。一つは、国民を飢えさせないこと。もう一つは、絶対に戦争をしないこと！」。戦争をしない方法については、抑止力を強化して安全を保つ方法もあれば、周辺国と仲良くすることで安全を高める方法もありますが、ここでは深入り致しません。

問題は、国民を飢えさせないこと。県政ですから、県民を飢えさせないこと。県民が三度三度のご飯が食べられるようにすることですが、実現できているでしょうか。

皆さんは、憲法と法律の違いは御存じだと思います。憲法とは「国家権力を縛るルール」であり、法律は「国民が従うべきルール」である。では、日本国憲法で最も大切な、根本的な考えを御存じでしょうか。国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三大原理、違います。天皇、国家、日本人も違います。個人の尊厳・人格の尊重即ち個人の尊重ということですから憲法13条前段に「すべて国民は、個人として尊重される。」と謳っているわけですから、わかりやすく言えば、一人ひとりを大切にすることという考えです。三大原理もここからきています。

13条が規定する個人の尊厳は、全体を個人に優先さ

せる全体主義を否定し、個人主義を宣言するものです。しかし、自己の利益だけを追求し、他人の利益を軽視あるいは無視する利己主義とは区別されなければなりません。あなた以外の他の個人もあなたと同じだけ尊重されなければならぬということですから。

自由、及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」となるわけであり、県政も国政の一翼を担っており、最大の尊重言わば最大の努力が必要なのです。弁護士の間議員、間違っていますよ。

自由、及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」となるわけであり、県政も国政の一翼を担っており、最大の尊重言わば最大の努力が必要なのです。弁護士の間議員、間違っていますよ。

国・県市町村三者の連帯責任が求められるが、県も相応の責任があるはずだ。なのに、知事はじめ特別職の期末手当を12月1日に遡って、0.05か月分増額するという。知事などの報酬が県民の平均所得以下ならまだしも、知事は2570万円、5倍以上の報酬を得ているから、おかしいと思いませんか。小池百合子東京都知事は、就任時から報酬を半減しています。そのため本県議員の方が高い。小池都知事のように報酬を半減しろとは言われないが、わずか数万円の増額、辛抱できないはずがありません。増額するならば、すべての県民が三度の食事が摂れるようになってからにしたいですね。また、県議の海外視察を廃止すれば、子ども食堂やフードバンクなどの貧困救済策を2倍に増額できます。因って、議案26号と52号に反対致します。すべての県民が食事に不安なく安心して暮らせる千葉県にしましょうよ、知事、そして議員の皆さん。

中止の県議海外視察費

昨年2月2日の「千葉日報」に、1日1食の高校生が県内におり、また1日2食でもやしだけの日もある高校生もいるとのこと。高校生が母子家庭ならば、母親も当然1日1食であり、兄弟がいれば兄弟も1日1食の可能性が高い。栄養不足で体力が落ち、コロナやインフルエンザに罹れば亡くなる可能性もあります。母子共に生存権が脅かされていると言わなければなりません。

昨年の7月、船橋市内に住む母子家庭の母親から私の事務所に電話がありました。生活保護を受けているが、息子は31歳だが軽度の知的障害があり生活が大変苦しい、市の担当課職員に相談したが対応も非常に冷淡くバカにしているようで、死ねということなのかという悲痛な訴えでした。厚労省によると、大人を含む自殺者数は昨年初めて2万人を下回った。しかし、健康問題に次いで2番目に多い

貧困救済へ活用を

経済・生活問題は5359件と前年から267件と増え、このうち生活苦が130件も増えたとのこと。昨年公表された国の調査によると、「生活が苦しい」と答えた世帯は、全体の6割近くに上った。長引く物価高が家計に影響しているのだらうとのこと。政府も物価高騰が続く中、生活保護受給者を支援するため特例加算を設け、電話があった昨年7月は一人当たり月額1000円でした。今は1500円、今年10月からは2500円に上がること。生活保護費が足りない時使える公的支援制度の一つがフードバンクです。社会福祉協議会や自治体の福祉窓口で紹介してもらえることが多く、米や缶詰、レトルト食品が中心です。定期的に利用することで、月々の食費を数千円から1万円程度削減できる場合もあるそうです。フードバンクならば代表によると、季節に

不用額228万円

よって変動があるが、4月5月は3割から4割食品が足りないが、年平均では1割から2割足りないとのこと。肉や魚の寄付は少ないため船橋市の補助金で買っているとのことでした。

ところで、県議会の海外視察、理由はどうあれ6月にカナダ行きが中止になり、12月議会で今年度は実施しないことが確定しました。予算額3228万円が不用額となつたわけです。そこで議会最終日知事があいさつ回りに見えたので、不用額をフードバンクなど貧困救済策に回して欲しいとお願いしました。しかし、補正予算案に振り替えはありません。県民からお預かりした税金、3228万円、決して多い額ではありませんが、遊ばせておいてよいか。多くの県民が貧困で苦しんでいるのですから有効に活用すべきです。確かに生存権の保障は

質問 林野庁が推進する花粉が少ない森林への転換促進事業について、都道府県が設定するスギ人工林伐採重点区域に該当するスギ林が対象になつていふことだが、もし、この事業が県内に当てはまらなければ、本県農林水産部の花粉症対策があれば教えていただきたい。

森課長 転換促進事業の関係ですが、本県においては実施希望がなく、活用されておりません。その理由としては、本県においては、国の別事業を活用した「災害に強い森づくり事業」などによる植替えを進めているところであり、令和8年度予算において、約1億7千万円の補助事業費を計上しており、約38ヘクタールの花粉の少ない苗木や広葉樹への植替えを予定しています。

最後に、花粉症対策、直接的な対策ではないのですが、災害に強い森づくり事業などで植替えを行う際は、花粉の少ない苗木の活用を推奨することで、花粉発生源対策を進めています。

花粉少ないスギに植え替え

農林水産常任委員会



市内二子町のイチゴ農園

「イチゴ輸出も視野 新5品種育成中」

本県は2024年イチゴの生産量が全国8位でイチゴ県ですが、県のイチゴ品種について開発状況はどうなつていふのか。

担い手支援課長 県ではこれまで、香りが特長の「ささの香」や甘味と程よい酸味があり食味に優れた「チーバベリー」を開発してきました。

現在は、食味が良く収量性に優れ、栽培管理がしやすい、また、輸出入向けも視野に入れ、長距離輸送に対応できるように、果実が硬めで日持ち性に優れた品種の育成に取り組んでいます。